

## 教材・支援機器活用実践事例

	実施年度	平成27年度
授業について	教科名等	自立活動
	単元・題材名	「ラを正しく発音しよう」
	授業における教師のねらい	○自信を持って読んだり話したりすることができるようにする。 ○口舌の運動機能を高め、ラの正しい構音方法を習得させる。
	授業における子どもの目標	○口舌をよく動かすことができる。 ○ラを単語で正しく発音できる。
子どもについて	学級・学校・学年	通級による指導（ことばの教室） 小学生 低学年
	対象の障がい	構音障がい（置換・省略）
	授業形態	個別学習
学習上又は生活上の困難さ	子どもの特性や教育的ニーズ	置換は改善したが、ラ行とリヤ行の省略がある。舌先の反転挙上はできるが、舌の弾きが弱く、正しい音を意識すると緊張して硬くなり、ラ行音の正しい発音が安定しない。舌の弾きを強めること、正しい発音を安定させることが課題である。
教材・支援機器活用	使用した支援機器・教材の名称	<p>【画像】</p> <p style="text-align: center;">＜カード＞</p> <p style="text-align: center;">①「ラ行のべろの運動」</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">    </div> <p style="text-align: center;">③単語「○○と□□」</p> <div style="display: flex; justify-content: center; gap: 10px;"> <div style="border: 1px solid gray; padding: 2px;">らくだ</div> と <div style="border: 1px solid gray; padding: 2px;">らくがき</div> </div> <div style="display: flex; justify-content: center; gap: 10px; margin-top: 5px;"> <div style="border: 1px solid gray; padding: 2px;">ライト</div> と <div style="border: 1px solid gray; padding: 2px;">ライター</div> </div> <div style="display: flex; justify-content: center; gap: 10px; margin-top: 5px;"> <div style="border: 1px solid gray; padding: 2px;">ラッコ</div> と <div style="border: 1px solid gray; padding: 2px;">らっぱ</div> </div> <p style="text-align: center;">＜iPad＞</p>
	活用のねらい	<p>①舌先をよく動かすことができる。</p> <p>②ラの正しい構音方法（舌の状態）を理解させる。</p> <p>③単語を「○○と□□」とつなげて発音することを通して短文練習につなげる。</p>
授業における支援 ・教材の配慮事項	<p>①口舌の運動は、大きくはっきりと口舌を動かしてゆっくり演示を行う。</p> <p>②演示で見せる他に iPad の映像で説明しながらいっしょに舌の状態を確認する。</p> <p>③カードを自分で選ばせて自己決定の場を設け、意欲と集中力を高める。</p>	
子どもの変容や評価	<p>4月当初はできなかったホッピングなどもできるようになり、舌先の運動機能を高めることができた。また、ラの正しい構音方法（舌の状態）を理解して、正しい構音方法で発音することができるようになった。正しい音の安定・定着が課題である。</p>	

